

明治三十二年三月五日附

多岐の喜河佐々子

お母さまけんじつとあやう

おとうさまもあやう

の御年よりおかげさまで

おかげさまでおかげさまで

おかげさまでおかげさまで

おかげさまでおかげさまで

おかげさまでおかげさまで

おかげさまでおかげさまで

おかげさまでおかげさまで

おかげさまでおかげさまで

おかげさまでおかげさまで

おかげさまでおかげさまで

おかげさまでおかげさまで

おかげさまでおかげさまで

おかげさまでおかげさまで

おかげさまでおかげさまで

取之みかひの旨 其又之月  
よふしは 取計りて  
す、何やおやひし  
かた友なりともたはし  
かた友に取免しきし  
のこりしは 礼  
まゝの旨之助  
一箇にたはし



羽後  
松山  
嶺  
字内  
地  
正  
柿



東言  
神日  
坊川  
街  
切  
書  
記

在  
川  
右  
三  
册

お返り

お返り下さりまして誠にありがとうございます

の御返事にはお礼申し上げます

と申すに、お返事にはお礼申し上げます

お返り下さりまして誠にありがとうございます

と申す

お返り下さりまして誠にありがとうございます

お返り下さりまして誠にありがとうございます

お返り下さりまして誠にありがとうございます

お返り下さりまして誠にありがとうございます

お返り下さりまして誠にありがとうございます

お返り下さりまして誠にありがとうございます

お返り下さりまして誠にありがとうございます

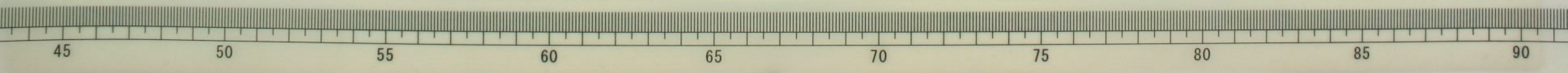
お返り下さりまして誠にありがとうございます

お返り下さりまして誠にありがとうございます

お返り下さりまして誠にありがとうございます

お返り

お返り



羽後國松山領字内所

十  
六  
書  
地  
製  
軍  
所  
廿  
七  
日  
正  
梅



東京市麹町區飯田所

五丁目一書地

長谷川辰之助



明治三十二年四月三十日附

大分おあゝかゝる如く  
皆一様と持て持て見  
るより一様と一様  
るより一様と一様

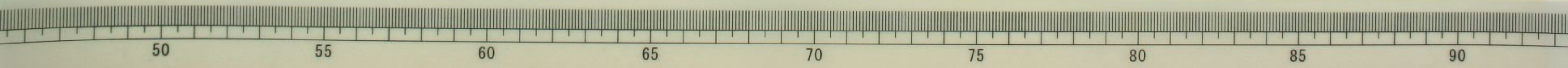
此は力を以て加ふる  
より一様と一様と一様  
より一様と一様と一様  
より一様と一様と一様  
より一様と一様と一様  
より一様と一様と一様  
より一様と一様と一様  
より一様と一様と一様

おあゝかゝる如く  
皆一様と持て持て見  
るより一様と一様  
るより一様と一様

居る所

國古神和代々々々

飯田所





封

東京市飯田町草月

一力身地

古瓦川原三物



羽後國他由越松山  
字内所十一力身地  
三物  
松山  
五月五日  
松山